

# チェックリスト

様式 2

## I 基本的なことから

チェック項目	工夫したことから
I-1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	I-1 隣地、及び、道路際には可能な限り緑化に努め、周辺への住環境に配慮した計画とします。
I-2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	I-2 共有スペースを設け、プライバシーを確保する事で、便利で快適な住空間を目指します。
I-3 ユニバーサルデザイン等の導入	I-3 主要な動線はバリアフリーでユニバーサルな計画とします。
I-4 安心・安全の生活の確保	I-4 堅固なセキュリティシステムを導入し、安心・安全な住空間を目指します。
I-5 都市の熱環境への負荷の低減	I-5 ZEH-M の取得を目標に環境に配慮した建築物を目指します。
I-6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	I-6 建物の配棟、高さに変化をつけ、眺める場所毎に異なる修景となるような建築計画としています。
I-7 魅力ある場所をつくるデザイン	I-7 別棟とした共用棟、法面部の緑化と小段部を小径とした魅力ある場所となるように設えます。
I-8 美しく開放された空間づくり	I-8 境界線から 5.0m 以上、建物を後退させる事で（一部 3.0m 以上）開放された住空間を目指します。
I-9 地区計画や建築協定などの積極的活用	I-9 本区域は景観形成地区の基準案があり、地区計画と合わせ継続的に協議を行います。

## チェックリスト

様式 3

## Ⅱ 技術的なことから (計画の作り方と数値目標)

チェック項目	工夫したことから
Ⅱ-1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁 H=約 2.20~4.30m・L=約 250.00m 法面 H=約 2.00~7.10m・L=約 1,360 m <sup>2</sup> 擁壁は極力設置せず、可能な限り法面とする事で隣接地へ配慮した計画としました。
Ⅱ-2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 31.00m・容積率 190.54% 建ぺい率 48.00% 隣棟との間隔 約 12.20m (南側建物)
Ⅱ-3 近隣の建物の配置状況への配慮	低層住宅地へは、境界線際に擁壁を設けず、造成法面とし緑化する事で隣接地へ配慮した計画としました。
Ⅱ-4 周辺から見た都市景観への配慮	建物の配棟、高さに変化をつけ、眺める場所毎に異なる修景となるような建築計画としています。
Ⅱ-5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	主要な歩行者動線は、可能な限り緑化に努め潤いある街路空間を目指します。
Ⅱ-6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 5.0m・隣地から 3.0m
Ⅱ-7 有効空地の指標	歩道設置 (無・有) W=—m・L=—m 敷地内空地 47.47%
Ⅱ-8 敷地面積の規模の指標等	—
Ⅱ-9 防犯性の高い良質な住宅ストック	堅固なセキュリティシステムを導入し、安心・安全な住空間を目指します。
Ⅱ-10 景観デザイン	配棟、高さに変化をつけた建物デザインと可能な限り緑化に努めたランドスケープデザインとして、魅力ある空間を目指します。
Ⅱ-11 まちの庭園化	—
Ⅱ-12 工作物などの作り方	フェンス H= 約 2.0m・L= 約 450m 塀 H= — m・L= — m

\*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください